

## 橘 博昌さんの想い、1万本植樹を実現！！

～4月15日 命の森づくり 田辺市にて市民ら1300人参加～

一人の想いが多くの人に伝播して、一万本植樹『紀州「くまぐすの森」大植樹祭』として結実した。その人とは第1期和歌山県地球温暖化防止活動推進員の橘 博昌さん(28)。そしてこのプロジェクトは様々な人の賛同、熱意、協働が作り上げたものである。

橘さんが地元での植樹を想いだったのは「世界一、木を植えた男」として有名な横浜国立大学名誉教授・宮脇 昭さんの番組を観た時だったという。「その土地の植生に合う土地本来の木を植えることで、本物の命の森を創ろう」、その



橘 博昌さん

宮脇さんの考え方に熱く共感したからだ。そして幸いに宮脇さんと会える機会が訪れた。

2005年2月、横浜市で宮脇さんの講演を聞き、数分ではあるが会話も交わした橘さんは「何とか、田辺に宮脇さんを招きたい」と思った。最初は「一人ででも、講演だけでも！」と暗中模索の中、折から「WeNET が紀南での温暖化防止イベントを企画中」と聞いた橘さんは宮脇さんへの熱い想いをスタッフに語る。話はほとんどん拍子で進み、予算面もクリアー。

そして昨年3月の宮脇講演となり、その素晴らしさが参加した約400人の聴衆の心を打った。

「紀南で宮脇方式の植樹をやろう！」。第一声を挙げていたのは橘さんならぬ、NPO 紀州茶がゆ。植樹への環は拡がり、宮脇さんへの依頼は毎日新聞社という大きなバックボーンを得て還ってきた。『紀州「くまぐすの森」大植樹祭』、主催は毎日新聞・紀州茶がゆ・WeNET 紀南支部など紀南をあげての



実行委員会、後援は田辺市、和歌山県。地元の中学、小学校も参加するという。役者は揃った！

4月15日、県内や近畿、東京から参加した約1300人は宮脇さんの楽しい説明に納得・共感しながら目良海岸での植樹に汗を流す。その森は暴風や高潮から地域を守り、緑地回復の手本にもなるという。まさにこのプロジェクトには「百匹目の猿現象」が起こっていると筆者には感じられた。

### 参加しよう！ コバンザメ作戦！！

**第一弾 8月19日（日）「市民まつり2007 好きやっしょ紀の川！！～夢花火～」**

**場所:「打田 若もの広場」**（紀ノ川河川敷） **時間:16時～21時**（PRは、16～19時を予定）

※県内で開催される大型イベントに【啓発パック】を出展し、来場者に「温暖化防止」をPRする作戦で、今後、4回（和歌山市2回、田辺市・新宮市各1回）のイベントに出展する予定です。

会員・推進員の参加希望者は、事務局(担当:にしで)まで連絡くださいm(\_)\_m

# WeNET活動レポート

## ◆「チームゴーゴー」◆

CO2 排出を削減する(=地球温暖化防止)ための取組みは、今や、国内外、民間・行政を問わず盛んに行われています。「100万人のキャンドルナイト」は、【でんきを消して、スロークロークな夜を!】というフレーズが共感を呼び、5年目を迎えた今年、1000万人以上の人たちが参加するほどの大きなムーブメントになりました。

そんな中、「Yes is love~みんなでちょっと動けば変わる~」や、「環境問題は、笑い楽しみながらロマンティックに!」というキャッチフレーズを掲げて、「夏至の日に、国内の全世帯へ地球温暖化問題や環境破壊に関する号外を豪快に配布しよう! (=チームゴーゴー)」という企画が持ち上がり、呼びかけ人には、田中優氏(昨年度の温暖化防止活動推進員養成講座や「本気で考える地域環境ビジネス創造ワークショップ(今年度独自事業)」の講師)をはじめ、大勢の著名人や環境活動家が名前を連ねました。



WeNET 会員や推進員からもこれに賛同し、県内で10万部配布を目指して協力者の呼びかけを始めましたが、

続々と配布協力希望者が集まり、多くのメディアが取り上げてくれたこともあって、結果、500人余りで予想をはるかに超える19万部もの号外を配布するに至りました。(全国:16,000人以上、2000万部超を配布)

この企画によって出来た「チーム和歌山」では、今後も環境に関する勉強会やイベントを開催していく予定で、温暖化防止の輪は確実に広がりました。

公式サイト⇒ <http://www.teamgogo.net/>

## ◆ウェルサンピア和歌山跡地の樹木保全について◆

和歌山市西高松の国道42号沿いにあった厚生年金健康福祉センター「ウェルサンピア和歌山」は、旧和歌山大学経済学部キャンパス用地(国有地を国に寄附したものである)を国が厚生年金事業振興団に売却し1993年に開業した宿泊・集会・スポーツ複合施設で、和歌山市中心部に立地することもあり市民に親しまれてきた。しかし全国的な年金保養施設の見直しによって、同施設も閉鎖・売却が決まり、昨年末、入札の結果、民間開発業者が落札・購入した。

同施設の東隣に事務所を置くわかやま環境ネットワークとしては、敷地内に残る多数の樹木の行く末が気になりとなった。ネットワーク会員の土井浩さんの調査によると、樹木は全部で約百本、大半がクスノキで、樹齢百年を超すと思われる大木が多数あり、都市の中ではたいへん貴重な樹木群であることがわかった。もともとは県民の財産であり、現状で市民にたいへん親しまれている公共的な緑地を失うことはたいへん残念なことである。将来の世代に対する責任として、私たちは、せめてこれらの樹木を伐採してしまわないように、開発業者に対して指導してもらえるようにと、和歌山市長に対して意見書を提出した。地元住民からもその後同様の声がわき上がっている。

当初、西に隣接する市道の拡幅(必然的に木を切ることになる)を業者に指導していた市は、その指導を引っ込め、業者にできるだけみどりを残すようにと指導した様子である。現在、業者による地元説明が行われているが、当ネットワークとしても、地元住民と声を合わせて一本でも多くの樹木が保全され、それが公共的な財産として受け継がれるように要望していきたいと考えている。(文責:前岡正男)

## ◆県内マイバッグ普及率調査 結果報告◆

### 田辺市

オークワ	パピリオンシティ	7.2%
	サカエ田辺ショッピングセンター	6.9

### 橋本市

A コープ	橋本店	11.5
吉野ストア	橋本店	3.3
オークワ	林間駅前店	11.4
オークワ	彩の台店	14.9
マツゲン	橋本店	27.8

### かつらぎ町

オークワ	かつらぎ店	3.3
------	-------	-----

### 紀の川市

マックスバリュ	貴志川店	9.4
マツゲン	粉河店	21.9

### 岩出市

マツゲン	中黒店	8.3
オークワ	ミレニアシティ	6.1
コープ	岩出中央店	71.4

### 海南市

オークワ	海南ココ店	14.7
------	-------	------

### 和歌山市

オークワ	パームシティ和歌山	10.2
マツゲン	栄谷店	21.8
ダイエー	和歌山店	4.9
ヒダカヤ	黒田店	1.9
エバグリーン	広瀬店	0.0

(調査期間 2006年12月~2007年2月で  
調査条件には若干の誤差あります。)

\* ご協力下さった皆様、有難うございました。

## クローズアップ！ わたしたちの活動 (7)

このコーナーはわかやま環境ネットワークに参加する団体や企業、個人の活動記録と今後の展望を紹介します。

### ◎ 紀州えこなびと ◎

事務局長：山本 将功

紀州えこなびとは、発展・自立・共生・調和をキーワードに、世代や各界の人間が交流し、情報や経験が伝承・共有され、地域の力や魅力を向上させていこうという会です。経済活動と環境配慮を両立させた持続可能な社会の実現を目標とし、各種の活動を行っています。

現在は大量生産・大量消費・大量廃棄の社会といわれます。自然生態系の破壊や資源の枯渇、大量の廃棄物、温暖化などの地球規模の問題、エネルギーの無駄遣い等、多くの問題が生じており、各分野において、食や水の安全、地産地消、循環型社会、再生可能エネルギー等を推進していく必要があります。私たちは、環境配慮と経済活動を両立させ、後世にすばらしい和歌山を残せるよう行動をおこしていこうと、2005年4月に会を立ち上げました。

「環境配慮を推進する活動を行う」「地域のための活動を行う」「持続可能な社会をめざす」「環境配慮と社会経済の両立を実現する活動を行う」「世代間の交流・各界の人材の交流をすすめる、知恵や経験の伝承・共有をすすめる」「将来を考えた活動を行う」を会の活動方針に掲げ、常に新しい視点に立った環境保全活動を展開しています。

紀州えこなびとでは、「市民共同発電」「自然エネルギー学校」「エコカー」「エコツアー」などさまざまな事業に取り組んでいます。

「市民共同発電」は、集めた寄付金で太陽光発電や風力発電といった自然エネルギー設備を設置する事業です。平成17年度は小型自然エネルギー施設をはぐるま共同作業所に設置しました。平成18年度は2号機を和歌山県障害者野球連



市民共同発電2号機の設置

盟事務局に、3号機をビオトップ孟子に設置しました。また、現在は紀州えこなびとエコカー事業部会製作のエコカーの太陽光パネルが4号機として設置されています。

「自然エネルギー学校」は、京都議定書発行で注目を浴びる風力・太陽光・小水力といった自然エネルギーについての基礎的・総合的な知識を勉強できる学校です。平成17年度・平成18年度にそれぞれ全6回ずつの講義を行い、あわせて60名の卒業生を輩出しました。現在平成19年度の学校を

開催しています。

「エコカー」は、太陽光などの自然エネルギーで動く自動車を手に入れ、環境教育のメニューを作っています。和歌山県と協働して環境教育を実施しています。また、エコカーの愛称を募集したところ多数の応募があり、「太陽の恵みちゃん」に決定しました。

「エコツアー」は、環境先進地等へのツアーや県内の環境勉強ポイントを回るツアーです。平成17年度は屋久島自然エネルギーツアーに、平成18年度は串本ラムサール海域清掃ツアー・酒田白鳥NPO交流ツアーを実施しました。平成19



串本清掃エコツアー

年度も親子向けの串本エコツアーを実施予定です。以上が主な事業です

が、そのほかにも、「自然エネルギー講師コンペ事業」、和歌山市中心部を流れる内川をきれいにするため、内川でカヌー



カヌー大会

大会を行った「内川をきれいにしようキャンペーン」、「温暖化防止里山活動」の実施、「わかやま水環境カルタ」の作成、さらに多くの方に活動

を知って頂くため、環境を考える市民のフォーラムを開催したり、海南市里山フォーラム・和歌山水環境フォーラムの共催、その他フォーラム等イベントへの協力等を行いました。

今後は、他のNPO団体や行政との連携・協働をさらに強化した活動を展開して行きたいと考えています。多くの方に活動を知ってもらい、エコを視点によりよい地域づくを目指していきたいです。

《えこなびと事務局》  
和歌山市善明寺 427-5  
TEL・FAX 073-451-8783  
<http://www.econavito.org/>  
事務局長：山本 将功

## 食品トレーから食品トレーへ

『お宅では  
どうしていますか?』

川口美智子さんのエコスタイル



今回は食品トレーについて考えてみましょう。

地球温暖化による気候変動の影響で世界の食糧事情は変わってきます。食糧自給率40%の日本にとっては気になるのですが、その心配を払拭する位にスーパーの売り場では食料品が山積みされ、その多くが食品トレーに入っています。不必要にトレーが使われていることも消費者にとっては気懸かりなことです。

最近では「個食スタイル」が浸透し、また女性の社会進出の活発化により「家庭の食事に代わるもの(Home Meal Replacement)」が注目を浴びるようになりました。食品メーカー側も味や品質で勝負できる「惣菜」商品に力を入れているのが現状です。その惣菜や生鮮食品などの容器として大量に使われている食品トレーは、石油から作られるポリスチレンをシート状に加工しこれを10倍に発泡させたものを必要な形に成型して作られます。では、リサイクルされた使用済み食品トレーはどうなっているのでしょうか?、実はポリスチレンに戻され、同じ食品トレーに再生されているのです。しかも石油からつくる場合の1/3のエネルギーで済むそうで、食品トレーのリサイクルは全国的にも広がっています。

さて、問題はその回収方法です。和歌山市では、回収車で回収された廃プラスチックの中には再生ができないものも含まれており、まず回収業者で食品トレーのみを分別し、圧縮加工して滋賀県の再生業者へ運搬されています。



もし、私たち消費者が食品トレーを洗浄・乾燥してスーパー等の店頭回収箱へ持って行けば、食品トレーを納品している包材問屋が帰便を利用して、使用済み食品トレーを回収しますので、収集処理経費として私達の税金を使わずに済むのではないのでしょうか? (和歌山市のごみ収集処理経費は市民1人あたり月に約1000円かかっています)

省資源やCO2削減のため、食品トレーは洗浄・乾燥して、スーパー等の回収箱へ入れましょう。

### ◆事務局だより◆

4月は昨年度の受託・補助事業の精算業務、5月は決算と今年度の事業申請で、事務所はヒートアップ。S事務局員とN事務局員は一触即発の場面がしばしば。受託事業では、国とのやりとりにさんざん苦労させられますが、今年も続々と国から委託決定の通知がはいつて、ホッとする反面、落とされたら楽になるのという期待が裏切られてがっかりする気持ちも。ようやく余裕の戻った6月は、「豪快な号外」旋風が事務所を席卷し、たくさんの人が初めて事務所を訪ねてくれました。7月に入り、STOP温暖化木の国知恵の環コンクールの公募も始まりました。地域別の作戦会議では軌道に乗っているところとなかなか難しいところが。徐々に加速していく様々な事業・・・はたしてうまくいくのか・・・不安な日々です。(事務局長)

事務所の西に面するサンピア跡の木が切られると、西陽によってO代表の背中がじりじり焼け、髪は炎上するでしょう。



(事務所の窓から撮影)

## NPOわかやま環境ネットワーク通信「ういねっと」

第7号 (平成19年7月20日発行)

発行: NPOわかやま環境ネットワーク

代表理事 重栖 隆 事務局長 前岡正男

事務局: 〒641-0051 和歌山市西高松1-6-4 栗栖ビル2F

TEL 073-432-0234 FAX 073-421-6545

e-mail wenet@vaw.ne.jp

HP-URL <http://wenet.info/> (新しくなりました☆)

～活動に参加して下さる会員を募集しています～

『年会費』運営会員 (個人・NPO・学校) 3000円  
(事業者・公共団体) 一口10000円  
会 員 (個人・NPO・学校) 3000円  
(事業者・公共団体) 一口10000円

※詳しくは事務局までお問い合わせください。

## 事務局地図

